

令和5年7月10日

大山町議会議長 米本隆記 様

大山町議会議員 大原広巳

令和5年大山町議会議員研修報告書

1	研修名	西部町村議会正副議長、局長合同研修会
2	日時	令和5年7月7日（金）
3	出席者	米本議長、大原副議長、野間局長
4	研修地	伯耆町地内 （①フィットネススタジオ パル、②welcome office、③伯耆町役場
5	研修内容	①フィットネススタジオ パル；施設見学（10：30～11：00）
		②welcome office；施設見学（11：15～11：45）
		③伯耆町役場；事例研究（13：45～16：40）
6	研修結果 又は概要 （意見・感想）	①フィットネススタジオ パル ○合併時に空き施設となった公共施設の空きスペースをフィットネスジムに転用。 ○平成29年4月のオープン以来黒字で経営をしている。 ○伯耆町社会福祉協議会が指定管理者として運営している ○計画目標としていた会員数330人に対し、現在399人で、ピーク時は507人と計画を上回っている。 ○町民の割合は減少傾向にあり、米子市の割合が増えている。 ○男女比は、女性が62%、男性38% ○ジュニア会員は放課後の午後3時～5時、ダンスで利用 ○休日より、平日の利用が多い。視察時（平日の午前中）もたくさんの方が来られていた。.



②welcome office

ウエルカムオフィスは、伯耆町丸山にあるロイヤルシティ大山リゾートの現地案内所。

分譲開始：平成元年 4 月

総区画数：698 区画

販売済区画：550 区画（78.7%）、未販売区画：148 区画（21.3%）

建築棟数：373 棟、未建築区画 177 区画

建物利用形態：別荘（77%）、定住（23%）

別荘オーナー：大阪・兵庫で 54%。岡山 14%など

管理運営形態：開発・販売を大和ハウス工業株式会社

管理業務を大和ライフネクスト株式会社

課題・問題点（たくさんある）

○高齢化への対応 ○インフラ施設の老朽化への対応

○コミュニティ醸成 ○除雪 ○環境保全 など

定住者（172 人）の年代別

70 代以上（40%）、60 代（20%）、50 代（16%）

20 代以下 14%

伯耆町との取り組み

- ・認知症サポーター養成講座
- ・レクリエーション e スポーツ体験
- ・高齢者運動教室

事業としては、販売をするだけの事業ならよいが、30 年が経過した計画地全体のインフラ施設の管理運営等を行っていくことが今は大きな問題となっている。



③事例研究

各町村から議会運営での課題等について事例を挙げ、各町村議会の実態等について、意見交換を行った。
主な討議事例は次の通り。

【委員会のオンライン開催について】

(伯耆町より)

＝まとめ＝

委員会条例を改正しているのは、日野町議会のみ。だが、事例はなし。

タブレット等も導入され環境も整備されてきているので、オンライン開催ができるように条例改正をしておくことは必要であるとのことから、条例整備に向け検討を進めることを確認した。

【6月定例会の委員会日程について】

(大山町より)

＝まとめ＝

各町村の状況は、委員会の日数は1委員会につき1日がほとんどだった。

委員会の内容は付託を受けた、請願・陳情についてが主。

大山町で定例会ごとに、全ての課に日程を組んで行っている所管事務調査は大山町のみ。県内の町村議会の会期日程と比べても大山町だけ委員会日数が多い。よって、会期日程も長くなっている状況。

※大山町は年4回の定例会日程がほぼ同じであるが、他の町村議会は、3月9月は予算決算の付託案件があるため会期が長くなるが、6月12月は付託案件が請願・陳情であるため、会期が短くなっている。

大山町は付託案件の有無にかかわらず、定例会中に各課ヒアリングを行っているため、6月12日が他の議会に比べ長くなっている。

【議長の常任委員会委員の就任状況について】

(大山町より)

＝まとめ＝

議長が常任委員会委員に就任していないのは、日南町議会のみ。(当時の議長が県議長会の会長に就任していた時に、公務多忙であったことから就任しないこととしたとのこと)

他はすべて議長も常任委員会委員に就任している。

議長の就任について検討したこともない。

※県内の状況では、日南町と琴浦町で議長が就任していない。一般的に市議会では、議長は中立公平の立場から委員会に属さず、全体的に委員会を把握する立場とされている。

